

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見		
	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見		
生徒の視点に立った「わかる授業」と家庭学習の充実		<p>[教務課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>科目による展開授業を各学年15講座実施 (R1 1年生:22 2年生:19 3年生:23)</li> <li>生徒の授業満足度91%以上 (R1 全体平均90.5%)</li> </ul>	<p>[教務課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単位制の利点を生かし、生徒の希望する選択科目を開講することができた。</li> <li>各学年20講座以上展開授業を実施した。(R2 1年生:20 2年生:20 3年生:23)</li> <li>生徒の授業満足度は、全体平均で92.9%であった。</li> </ul>	<p>[教務課] (評価A)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科と連携し、可能な限り生徒の希望する選択科目を開講することができた。また、少人数指導の効果を生徒(78.0% 昨年70.0%)、保護者(71.4% 昨年76.5%)ともに一定程度実感していると思われる。数値目標についても、達成できた。また、教科会を年7回開催した。城北生につけたい力に基づく評価方法や、手立てについて共通理解を図ることができ、有意義であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校再開後の取組、新しい授業と忍耐の一年であった。授業の満足度がアップしているところに先生方の尽力が表れていると実感した。</li> <li>臨時休業中から先生方はよく頑張っている。</li> <li>コロナ禍の中で高い評価であるのはうれしい。今後も頑張してほしい。</li> <li>プリント等、進路の情報について、直接保護者に届くよう考えてほしい。</li> <li>コロナウイルスによる感染が継続すると思われる。リモート授業を活用してはどうか。</li> </ul>	<p>[教務課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少人数指導を実践するにあたり、多くの先生に時間的負担をかけている事実がある。単一クラスで実施している授業も含め、教育の費用対効果が高まるように編制を考えなければならない。</li> <li>教科会での協議内容が実践されるシステムを熟慮し、学校経営に取り入れる必要があると考えられる。</li> </ul> <p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度に続き2年生は前年調査より学習時間平均は上昇している。しかし依然として学習時間1時間未満の者が1割以上存在すること、1学期に比べ2学期に学習時間の個人差が開いていることが課題である。入試改革や共通テストへの対策を基盤に、学習に対する意識の高揚を更に進める必要がある。</li> <li>3年生を中心に、高大接続改革における進学関係業務が増加しているうえに、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための各種変更に伴い、業務量はさらに増大した。今後も進学関係業務の改善や、実施時期の調整等を図り、効果的かつ持続可能な進学指導を進めていく。</li> <li>今年度設定した評価指標は次年度も下げることなく、目標達成に向けた努力や改善を継続する。</li> </ul> <p>[学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き「為せば成るノート」を活用して生活習慣の乱れがちな生徒を指導していくとともに、学習課題を適切に設定して日々の学習習慣を定着させる。</li> <li>学年運営や生徒理解について、教員間の共通理解をより一層深めていく。</li> </ul>
		<p>1 学習指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学習意欲を喚起し、主体的に学習する習慣の定着を図る。</li> <li>基礎・基本の確実な定着と応用力の育成及び個性を生かす教育の充実を図る。</li> </ul>	<p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の日における学習時間 学年+1時間 (R1平均学習時間 1年生:2.31時間 2年生:2.15時間)</li> </ul>	<p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の日における学習時間 1年生:2.24時間 2年生:2.44時間</li> <li>1年生は目標達成できたが昨年度より微減、2年生は目標達成には至らなかったものの、昨年度の調査より平均学習時間は増加し、昨年度よりもさらに目標に近づくことができた。</li> </ul>	<p>[進学課] (評価B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画はほぼ実行できたが、一部の項目で評価指標を超えることができなかった。</li> </ul>	
		<p>[学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本となる力の定着の目安として、丁寧な教科指導の結果としての欠点科目数の減少に努める。</li> <li>自主学習時間の確保に結びつくよう、年間3回は取り組み内容を確認・評価する。</li> <li>学年会を各学期に2回以上実施する。</li> <li>学年集会を各学期に2回以上実施する。</li> </ul>	<p>[学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1学期は臨時休業の影響があり、進度に遅れが生じていたが、慌てることなく丁寧に授業を進めることができた。</li> <li>週末や長期休業には課題を設定して計画的に取り組むよう指導し、その状況を年間3回以上確認し、評価した。</li> <li>学年会を各学期2回以上実施し、教員間の意思疎通を図った。</li> <li>学年集会は、オンラインや体育館を利用するなど工夫を凝らして、各学期2回以上実施した。</li> </ul>	<p>[進学課] (評価B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍での臨時休業の影響や日程変更など大きく環境が変わったが、学年をあげ共通理解を深め、目標の達成に努力した。</li> </ul>		
		(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
		<p>[教務課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師の授業力向上のための公開授業、教職員による検討会の実施</li> </ul>	<p>[教務課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブ・ラーニング推進週間を6月と11月の計2回実施することができた。授業参観のべ人数は82名であった。</li> <li>教科会を年7回実施し、各教科において、授業改善や新学習指導要領などについて協議し、共通理解を高めることができた。また、学校グランドデザイン、城北生に授業でつけたい力などについても討議をすることができた。</li> </ul>			
		<p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習習慣の定着</li> <li>高大接続改革の情報共有と進学行事の精査や改訂</li> </ul>	<p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学習の日」の設定と学習時間調査の実施</li> <li>教職員共有フォルダや職員会議等の機会を利用した高大接続改革の情報共有</li> <li>授業数増、内容充実に伴う早期補習の廃止</li> <li>一斉テストの精選と新テストをふまえた問題作成</li> </ul>	<p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は臨時休業の影響もあり、年7回の学習の日と、翌日の学習時間調査を実施(例年は年8回)し、生徒やホームルーム間の学習状況の現状把握をすることができた。</li> <li>早期補習に代え、3年生希望者を対象に放課後の共通テスト対策講座を実施し、新テスト対応に努めた。</li> <li>一斉テストにおいて思考型問題を出題することとし、新傾向の問題に対応した。</li> </ul>		
		<p>[学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題(日々のプリント、週間プリントなど)の有効利用</li> <li>予習→授業→復習サイクルの習慣化による、学習内容の定着</li> </ul>	<p>[学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題の評価を工夫し、提出率の向上が見られた。</li> <li>「為せば成るノート」の提出は、クラスによってはばらつきがあったが、生徒の学習状況や基本的な生活習慣の把握に利用できた。</li> <li>「為せば成るノート」を活用した面談を年間5回以上実施できた。</li> </ul>			

重点課題	重点目標 (全校レベル)	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と今後の改善方策
		評価指標と活動計画	評価		
生徒の視点に立った「わかる授業」と家庭学習の充実	1 学習指導の充実 ・生徒の学習意欲を喚起し、主体的に学習する習慣の定着を図る。 ・基礎・基本の確実な定着と応用力の育成及び個性を生かす教育の充実を図る。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	[教科] 1) 国語 課題や小テストを通してどんな力をつけるか、確認・精査することを次年度の課題としたい。観点別評価については実際の運用に向けて歩み出せるだけの実績を得られた。学力向上という目標達成のために、取組の質が高まるような評価の在り方や発問、思考問題等の検討は豊富にできたが、さらに効果を増すよう研究を進めたい。  2) 地歴公民 基礎・基本の定着を図る。テスト内容を精選する。予習復習プリントの活用を工夫する。共通テストに対応できる力を身につけさせる。  3) 数学 カリキュラムマネジメントが本格的に始まり、取り組みや目標を学校グランドデザインと連動させる必要がある。他者と考え方を共有したり、見通しの立った学習習慣を身につけたりできるような課題・テストの実施方法について、さらに研究を進めたい。  4) 理科 数学と教科を横断した授業を多く実施することができ、理科の内容について深く思考させる機会となった。カリキュラムポリシーに基づき、日常生活との関連を図る内容を深めていきたい。  5) 英語 生徒の英語能力を正確に評価しつつ、モチベーションをアップさせるような評価方法についての工夫が必要である。
		[教科] 1) 国語 ①週3回の課題提出率90%(R1 85%) ②取り組み方により5段階に分けての評価と合わせて観点別評価の導入 ③小テストの定着率95%(R1 90%)  2) 地歴・公民 ①小テストの正答率80%(R1 80%) ②小テストの定着率95%(R1 95%)  3) 数学 ①週プリントの提出率90%(R1 90%) ②週明けテストの実施と再テスト合格率95%(R1 94%)  4) 理科 ①実験・観察等を入れるなど日常生活と関連を図ることができる内容の授業を年間3回以上実施。(R1 3回以上) ②小テストの定着率90%	[教科] 1) 国語 ①週3回の課題提出率80% ②取り組み方により5段階に分けての評価と合わせて観点別評価の導入 ③小テストの定着率75%  2) 地歴公民 ①正答率80%以上 ②定着率 再テストにて95% 小テストに代えて予習復習プリント実施の単元有り  3) 数学 ①提出率87% ②実施 合格率93%  4) 理科 ①年間3回以上実施 ②小テストの定着率 再テストを含めて90%		
		活動計画	活動計画の実施状況		
		[教科] ○基礎・基本の徹底と定着 ○学習指導法の改善	[教科] [教科] 4) 理科(評価B) 臨時休業の影響により、実験・観察等の実施は難しかったが、演示実験等を行うことができた。		
		1) 国語 ・言語に関する知識・理解の深化 ・思考を深める力の育成 ・読む・書く力の向上	1) 国語 ①各単元・授業で思考を問う発問を課す ②評価のフィードバック ③観点別評価を行う		
	2) 地歴・公民 ・わかる授業の実践 ・基礎・基本の徹底	2) 地歴・公民 ①小テストの実施 ②共通テスト対策に取り組ませる。	2) 地歴・公民 ①各単元において小テストを実施するとともに予習復習プリントの作成により基礎学力の定着を図った。 ②日々のプリントや授業で演習問題に取り組ませるとともに、放課後の補習を実施し、取り組ませた。		
	3) 数学 ・他者と考え方を共有できる授業実践 ・見通しが立った学習習慣の確立と定着	3) 数学 ①週プリントの配付とフィードバック ②週明けテストの実施 ③理解を促す教材の作成	3) 数学 ①昨年通り実施できた。 ②臨時休校の影響もあり、1学期は変則的な形であったが、2学期は予定通り実施できた。 ③電子黒板を有効活用できる教材を作成し実施することで、生徒の理解を促すことができた。		
	4) 理科 ・論理的思考力の育成 ・基礎・基本の定着	4) 理科 ①実験・観察のレポートや関連するワークシートに取り組ませる。 ②小テストの実施	4) 理科 ①実験・観察の際には、必ずレポートやワークシートを活用することができた。 ②小テストにより、授業の内容を振り返る機会をつくることができた。		
	5) 英語 ・家庭学習習慣の確立 ・基礎・基本事項の定着	5) 英語 ①語彙・文法・読解の課題を与え、定期的小テストを実施し、事後指導をする。 ②定期的にパフォーマンステストを実施する。	5) 英語 ①小テストや課題配布は全ての学年で定期的実施できた。 ②学期ごとや定期考査ごとにスピーキングやリスニングのパフォーマンステストを実施した。		

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策		
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見			
生徒個々の進路希望を実現するための情報提供及びキャリア教育の推進	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	<p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試改革に対応した進路指導の充実に向けて、講演会や集会等の進学関係行事を精選し、授業時数確保、探究活動の充実などを推進する。</li> <li>・自らの学力や進路への不安、現役志向の高まりなどからより早く、より確実に進学先を決めようとする傾向が強くなっていくが、最後まで志望校合格に向けて努力する生徒を増やす。</li> <li>・来年度も共通テスト出願者割合増加への努力は引き続き進め、最後まで合格に向けて努力する意識を高めていく。</li> </ul> <p>[就職課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響や補習形態の変更に伴う就職指導の時間不足で困難が予測される状況ではあるが、できる限り早期に生徒の特性や希望状況を把握し、必要な求人を確保する。</li> <li>・保護者に対してでもできる限り多くの情報を提供し、連携を図りながら希望職種・事業所等のミスマッチをなくす。</li> <li>・学年集会や進路保護者会を通し、就職に対する早期からの意識付けを図る。</li> </ul> <p>[キャリア形成支援課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究(学習)の学習活動については、社会とのつながりの中で探究活動を進めていくため、校外での活動なしには成り立たない。今後のコロナウイルス感染状況が予測できないが、校外での活動ができず、または制限されると探究活動の進行が困難となる。また、時間的に放課後や長期休業中、休日の活動となるために生徒教員ともに負担が大きい。入試等の際にもその取り組みを評価される機会が増えている中、取り組みの縮小ではない解決策を探る必要がある。</li> </ul>		
	2 進路指導の充実	<p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高大接続改革の情報共有や、生徒の学習・進路意識を喚起する集会を、各学年2回以上実施</li> <li>・共通テスト出願率65%以上 (R1 出願率61.1%)</li> </ul>	<p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会等の対象学年と実施回数 進路集会: 1年生0回(※1)、2年生1回、3年生5回 共通テスト集会: 3年生5回 小論文・志望理由書講演会: 2・3年生各1回 校内大学説明会: 3年生0回(※2) なぜは成るセミナー: 1・2年生各1回</li> <li>・共通テスト出願率 179/272(65.8%): 3年ぶりに目標を達成できた。</li> </ul>	<p>[進学課]</p> <p>(評価B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は年度当初に予定していた進路集会が臨時休業のため実施できず、感染拡大防止の観点から外部講師を招いての集会(※1)や大学説明会(※2)も実施しなかった。そのため1年生の進路集会は実施できなかったが、集会の多くを配信やオンライン形式に変更して実施することにより、臨時休業期間中の集会を除き計画はほぼ実行できた。</li> <li>・1年生の集会実施数が評価指標を下回った。</li> <li>・共通テストの出願率が3年ぶりに目標を達成できた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元での就職者は少ないようだ。地元で就職してほしいのでアピールしてほしい。また職業選択の時に地元企業を活用してインターンシップをしてほしい。</li> <li>・早朝補習を廃止し、7限授業の実施はA評価でも低めである。働き方改革と人財確保は難しく苦労している。生きがいを持って働き、教員をめざす生徒をぜひ多く作ってほしい。</li> <li>・総合的な探究の時間に小学校で授業していただき、子ども達は喜んでた。これからも協力したい。</li> </ul>	
		<p>[就職課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公務員説明会を生徒の希望職種ごとに各1回以上開催すると共に、校外での説明会に積極的に参加させる。</li> <li>・2年生対象に本校主催のインターンシップを実施し、進路決定に関する意識の向上のため10名以上(R1 計6名)の参加者を目指す。</li> </ul>	<p>[就職課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の希望状況に合わせ、刑務官・自衛官の説明会をそれぞれ1回実施した。また警察官・消防官については希望者各自でそれぞれの説明会に参加する方法をとった。</li> <li>・保育関係の事業所でインターンシップを計画していたがコロナ禍の影響により実施を自粛した。</li> </ul>	<p>[就職課]</p> <p>(評価B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公務員説明会に参加したこと、受験に対する意欲が向上するきっかけとなり、多くの生徒が公務員試験で最終合格を得ることができた。</li> <li>(10名受験、延べ23名合格)</li> <li>・1・2年生の公務員希望者に広報し、早期から公務員試験を受験する体勢を確立させることができた。</li> <li>・コロナ禍ではあったが、生徒の希望する業種への事業所訪問や連携を行い、必要な求人を確保することができた。</li> <li>・保育系進路志望の2年生対象にインターンシップを計画したが、コロナ禍の影響により実施を自粛した。</li> </ul>			
		<p>[キャリア形成支援課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究(学習)の時間の生徒の満足度83%以上 (R1 82.8%)</li> <li>・理数科各学科の生徒の各活動に対する満足度73%以上 (R1 72.5%)</li> <li>・キャリア・パスポートの活用率75%以上</li> <li>・ポートフォリオの活用率75%以上</li> </ul>	<p>[キャリア形成支援課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究(学習)の時間の生徒の満足度66.7%</li> <li>・理数科各学科の生徒の各活動に対する満足度83.1%</li> <li>・キャリア・パスポートの活用率70.0%</li> <li>・ポートフォリオの活用率70.0%</li> </ul>	<p>[キャリア形成支援課]</p> <p>(評価B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究(学習)の時間に対する満足度は、昨年度を下回る結果となった。臨時休業や感染拡大防止により従来の活動ができなかったこと、また活動が制限されたことによるものと推察するが、この状況下においても教職員生徒ともに最大限の努力をした。また、総合的な探究(学習)の時間の生徒の取り組みについては、年を重ねるごとに内容が充実してきている。</li> <li>・理数科各学科の各活動に対する満足度は、昨年度を上回る結果となった。臨時休業期間の分、例年より研究の進捗状況が遅れているが、実験の失敗などを経て、中間まとめを行い、各班とも研究内容についての深化が見られる。この評価は生徒自身の取り組みの自己評価と捉えられる。</li> </ul>			
		(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況			
		<p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路選択に関する生徒・保護者への情報提供の充実</li> <li>・全教職員が一丸となった組織的かつ手厚い進路指導の実施</li> </ul>	<p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年やPTAと連携した進路保護者会等を学年毎に開催</li> <li>・進路だよりや学校HPの活用による情報発信</li> <li>・1・2年生の進路指導と3年生の受験指導に教職員全員で取り組む</li> </ul>	<p>[進学課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路保護者会 1年生: 4月・10月実施(配信) 2年生: 10月実施(配信) PTA総会が中止になり、進学費用講演会は開催できなかった。進路だよりは内容更新しながら年10回発行した。HPに進路だよりや進学関係行事の様子を掲載し、発信した。</li> <li>・進路に関わる学校行事や学習指導に、全教職員で取り組むことができた。</li> </ul>		<p>[キャリア形成支援課]</p> <p>(評価B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究(学習)の時間に対する満足度は、昨年度を下回る結果となった。臨時休業や感染拡大防止により従来の活動ができなかったこと、また活動が制限されたことによるものと推察するが、この状況下においても教職員生徒ともに最大限の努力をした。また、総合的な探究(学習)の時間の生徒の取り組みについては、年を重ねるごとに内容が充実してきている。</li> <li>・理数科各学科の各活動に対する満足度は、昨年度を上回る結果となった。臨時休業期間の分、例年より研究の進捗状況が遅れているが、実験の失敗などを経て、中間まとめを行い、各班とも研究内容についての深化が見られる。この評価は生徒自身の取り組みの自己評価と捉えられる。</li> </ul>	
	<p>[就職課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職への情報源として説明会や職場見学に加えてインターネットの活用を図る。</li> <li>・生徒のキャリア教育推進のための校外体験活動を推進する。</li> </ul>	<p>[就職課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月以降に自衛官・刑務官・警察官等の説明会を実施する。また公務員模試を実施する。</li> <li>・ハローワーク提供の高校向けインターネット求人情報を最大限に利用する。</li> <li>・生徒の希望する職種でインターンシップに協力してもらえ事業所を開拓する。</li> </ul>	<p>[就職課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月に刑務官、自衛官の説明会を希望生徒を対象に実施した。</li> <li>・1学期は3年生が校外公務員模試に参加、2学期以降には1・2年生対象に校内で公務員模試を実施した。</li> <li>・ハローワークの高校向けインターネット求人情報を活用し、県外就職希望者や急な進路変更を要した生徒に情報提供することができた。</li> </ul>				
	<p>[キャリア形成支援課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来への展望や社会に参画する意識を持つため、課題対応能力、人間関係形成能力、主体的に行動する能力を育成する。</li> </ul>	<p>[キャリア形成支援課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究(学習)の時間</li> <li>・フィールドワークなど生徒の探究活動への主体的な取り組みを推進</li> <li>・生徒が取り組んだ内容について、外部講師を招聘し、年間2回発表会を開催</li> <li>・キャリア・パスポートを作成・配布し、学期に2回以上生徒に記入させる。</li> <li>・ポートフォリオを学期に2回以上生徒に記入させる。</li> </ul>	<p>[キャリア形成支援課]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究(学習)の時間において、生徒はフィールドワークなど探究活動に主体的に取り組んだ。県内企業の協力を得て、イベント開催等を実現したグループや小・中学校を訪問し、自分たちの研究内容を発表したグループが28ありあった。</li> <li>・1年生は10/29中間報告会、12/17成果発表会を、2年生は10/22中間報告会、12/1成果発表会を、外部講師を招聘して開催した。</li> <li>・キャリア・パスポートを作成・配布し、学期始めと終わりの2回、生徒に記入させた。</li> <li>・ポートフォリオを学期に2回、生徒に記入させた。</li> </ul>				

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	
規範意識の一層の向上とルールを守りモラルやマナーを大切にす心、いじめをゆるさない心の育成	3 生徒指導の充実 ・基本的生活習慣の確立を図り、節度と品位のある礼儀正しい生活態度を育成する。 ・生徒の生活状況に応じた支援を行うとともに、安全教育を徹底する。 ・いじめの早期発見、解決に努める。	<p>[生徒指導課]</p> <p>1)モラルや社会的マナーの指導の強化について、生徒・保護者の肯定回答を82%以上とする。 (R1 生徒81% 保護者82%)</p> <p>2)年間総遅刻数を前年に比べ10%削減する。 (R1 全学年総数1207名 2/29までの計)</p> <p>3)交通事故報告数を前年に比べ10%削減する。 (R1 報告 26件)</p> <p>4)いじめを許さない指導。いじめアンケートを年3回実施。</p>	<p>[生徒指導課]</p> <p>1)身近な事案を取り入れながら、学校全体で指導に取り組み、意識の変革と向上に努めた。生徒・保護者の肯定回答は両者共に80%を上回り目的を達成できたが、保護者の肯定回答が昨年より1%下回った。 (生徒82%、保護者81%)</p> <p>2)1・2学期の遅刻総数は1125名であり、昨年度の同時期より1.1倍に増加した。</p> <p>3)全校集会の形で交通安全教室を開催する事はできなかったが、朝夕の交通指導やマナーアップでの呼びかけを行った。事故報告数は昨年より増加しており、削減には至っていない。(1月12日現在報告 31件)</p> <p>4)いじめ調査は7月・1月・3月(予定)に実施し、結果を全教職員で共有した。</p>	<p>[生徒指導課] (評価B)</p> <p>・モラルや社会的マナーの指導を通じて、社会規範意識の向上に努める事では生徒・保護者から8割以上の肯定回答を得ているが、基本的生活習慣の部分で遅刻に対する意識改善が図れず、目標を達成することができなかった。</p> <p>・交通事故については、余裕のない運転や安全確認が不十分であった等を理由とするものが多かった。</p> <p>・いじめ調査を、いじめに繋がる恐れのある言動等の早期把握と対応に繋げることができた。</p>	<p>・立哨指導の時に高校生を見かけるが、自転車のマナーは守れている。また挨拶もできていて好感が持てる。</p> <p>・基本的生活習慣の確立を図るために、遅刻防止に向けた活動を学校を挙げて行う。</p> <p>・自転車安全教育の徹底と強化を図り、自転車マナーの規範意識を向上させ、交通事故の防止に向けた指導を継続していく。</p> <p>・いじめに繋がる恐れのある言動を見逃さないように、生徒観察に努め、教員間の情報共有を密にしながら継続して行う。</p>
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
	<p>[生徒指導課]</p> <p>1)道徳的・社会的マナーの指導と情報モラルの育成 ①頭髪服装指導の強化 ②情報機器の安全な使用方法と個人情報の自己管理の徹底</p> <p>2)安全教育の徹底</p> <p>3)いじめ調査アンケートの実施と活用</p>	<p>[生徒指導課]</p> <p>1)日常的に行うこととし、学校行事や学年集会では指導を徹底する。 ①頭髪服装検査(年間3回必須、全体行事前) ②ネット被害の現状等講演会の実施</p> <p>2)立哨指導の継続と安全に対する意識の変容に努める。 ①交通安全教室の開催(年1回全学年) ②各学期ごとに一斉指導を実施 ③クラス毎に年1回の交通安全ホームルーム活動を実施 ④学年集会での注意喚起 ⑤毎月20日マナーアップ活動の実施</p> <p>3)7月・12月・3月にいじめアンケートを実施し、現状把握すると共に担任面談等に活用する。</p>	<p>[生徒指導課]</p> <p>1)あらゆる事案に対して、教職員の共通理解を図った上で、迅速に生徒指導を行った。学年毎の集会やリモートを通して注意喚起を行った。 ①頭髪服装検査を各学期の始業式後に実施し、改善に努めた。(1・2・3学期) ②全体に対して、各教室においてリモートによる講演会を開催した。</p> <p>2)毎朝の立哨を継続して行い、安全登校とマナー向上の呼びかけを行った。 ①交通安全教室は実施できなかった。 ②6月・8月に全教職員による一斉指導を実施した。 ③クラス毎に交通安全に関するテーマを決めて、ホームルーム活動を実施した。 ④長期休業前の集会で、リモートによる生活に関する注意喚起を行った。 ⑤各学生生活委員の活動として、挨拶運動・駐輪場整備、交通マナーの呼びかけを行った。</p> <p>3)7月・1月の調査では、問題となる事案は見られなかった。また、聞き取り調査においても問題はなかった。</p>		

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価			学校関係者の意見
		評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見		
豊かな心を育み、幅広く調和のとれた人材の育成と人権教育活動の充実	(全校レベル)	<p>4 人権教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動全体を通して人権についての知識を深め、豊かな人間性や互いに尊重する態度を育成する。</li> <li>・人権尊重の精神の積極的な啓発に努め、人権意識の高揚を図る。</li> </ul>	<p>【人権教育課】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)人権ホームルーム活動に対する生徒の評価で肯定回答を75%以上にする。(R1 73%)</li> <li>2)「人権教育関連学校行事」に対する生徒の評価で肯定回答を75%以上にする。(R1 72.1%)</li> <li>3)各教科における人権学習・人権教育を計画的に実施する。(R1 おおむね実施)</li> <li>4)生徒対象の人権教育講演会などを年2回実施し、満足度を75%以上とする。(R1 73.8%)</li> <li>5)全体の人権教育教職員研究会を年間1回実施する。(R1 7月に実施)</li> </ol>	<p>【人権教育課】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)人権ホームルーム活動に対する生徒の評価で肯定回答は75%であり、目標を達成した。</li> <li>2)「人権教育関連学校行事」に関する生徒の評価で生徒の肯定回答は76%であり、目標を達成した。</li> <li>3)各教科における人権学習・人権教育はおおむね計画的に実施できた。</li> <li>4)生徒対象の人権教育講演会は臨時休業の影響で1回しか実施できなかったが、満足度は76%であり目標を達成した。</li> <li>5)全体の人権教育教職員研究会を8月に実施した。</li> </ol>	<p>【人権教育課】 (評価A)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第1回人権集会在中止、第2回はオンラインでの開催になったが、人権委員が文化祭に向けて展示物を作成したり、各クラスにおいて人権集会の司会進行を務めたりといった活動を行うことができた。</li> <li>・また、現状に合わせて新しいテーマに対する取り組みを行ったが、今後生徒とともに活動していくことができるようさらに研修や準備が必要であると考える。</li> <li>・生徒の人権教育に関する活動に対する肯定回答が75%を越えた。(昨年度は73.8%)</li> </ul>	なし
	(下位組織レベル)	<p>【人権教育課】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)ホームルーム活動の充実</li> <li>2)人権集会・人権週間への取り組みの充実</li> <li>3)各教科における人権学習・人権教育の推進</li> <li>4)生徒対象の人権講演会の実施</li> <li>5)人権教育教職員研修の充実</li> </ol>	<p>【人権教育課】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)アンケートを実施し、生徒の学びや社会の状況に合わせて資料を集めて選択し、展開を工夫する。</li> <li>2)人権集会・人権週間に向け、人権委員や社会問題研究会の部員を中心とした生徒による人権問題をテーマとした展示物を作成し、啓発に努める。</li> <li>3)各教科において、年度当初に立てた計画に従って人権学習・人権教育を実施する。</li> <li>4)人権教育に関する講演会を5月と11月に実施する。</li> <li>5)職員対象の人権教育研修会を7月に実施する。</li> </ol>	<p>【人権教育課】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)アンケートを実施し、生徒の学びや社会の状況に合わせて資料を選択し、展開を工夫した。今年度より「性の多様性」「外国人の人権」をテーマとした人権学習を実施した。</li> <li>2)人権委員や社会問題研究会の部員を中心とした生徒による「共生社会」をテーマとした展示物を作成し、文化祭や人権週間に展示を行った。また、人権集会や人権教育学習に合わせて、「インターネットと人権」「性の多様性」などのパネル展示を行い、人権意識の向上に努めた。</li> <li>3)各教科において、年度当初の計画に従って人権学習・人権教育を実施した。</li> <li>4)臨時休業の影響で5月の人権教育に関する講演会は中止となったが、11月は「インターネットと人権」をテーマとして実施した。</li> <li>5)全体の人権教育教職員研究会を8月に実施した。</li> </ol>		

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
部活動のさらなる活性化を図るとともに、生徒会や各種委員会の諸活動を充実する。	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	なし
		<p>[特別活動課]</p> <p>1) 部活動入部率向上を目指し、3年間の継続活動を奨励する。部活動の教育貢献度の肯定回答を生徒・保護者で80%以上とする。(R1 生徒75%, 保護者80%)</p> <p>2) 生徒会や各種委員会の活動を活性化させる。教職員・生徒の評価で肯定回答を70%以上とする。 (R1 生徒会活動: 教員89% 生徒62%, 各種委員会: 教員68% 生徒64%)</p> <p>3) 学校行事(球技大会・学校祭・予餞会など)の生徒主体での活性化を図る。教職員・生徒の評価で肯定回答を80%以上とする。(R1 教員93%, 生徒79%)</p>	<p>[特別活動課]</p> <p>1) 学年が上がるにつれて、入部率は減少した。教育貢献度は80%以上を超えることができなかった。 (R2 教員96.7%, 生徒74.2%, 保護者79.2%)</p> <p>2) 生徒間での生徒会活動の評価は低かったが、教職員では70%を超えた。 (R2 教員75.4%, 生徒58.9%)</p> <p>3) 生徒会を中心に学校行事を生徒主体で進めることができ、肯定回答は80%以上を達成できた。 (R2 教員96.7%, 生徒83.9%)</p>	<p>[特別活動課] (評価B)</p> <p>・部活動入部率は減少している。魅力ある部活動を展開し、部活動の充実を図りたい。</p> <p>・生徒会活動に対しての生徒間の評価が非常に低い。生徒会が積極的な啓発活動を行い、活発な活動を行う必要がある。</p> <p>・生徒会・各種委員会の充実を図り、生徒の自立性・自主性を養う。</p>	
		<p>5 特別活動の充実</p> <p>・生徒の主体的運営を基本として、各種活動に取り組むことのできる学校行事、生徒会活動の充実を図る。</p> <p>・部活動を充実・活性化させ、生徒の精神面、体力面での成長を図るとともに、団結心や協力を育成する。</p>			
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況		
	<p>[特別活動課]</p> <p>1) 定期的な部活動連絡協議会を開催し、魅了ある部活動を展開する。</p> <p>2) 生徒全体への生徒会活動の広報を積極的に行い、生徒主体の活動を奨励する。</p> <p>3) 各種委員会の活性化。</p>	<p>[特別活動課]</p> <p>1) 部活動紹介を充実させ、部活動連絡協議会などを通して部活動の活性化を図る。</p> <p>2) 生徒会・クラスの代議員が中心となって学校行事などの企画・運営を積極的に行い、活動の活性化を図る。</p> <p>3) 各種委員会の活動を活性化し、学校行事の充実を図り、生徒主体の運営を行う。</p>	<p>[特別活動課]</p> <p>1) 生徒による部活動紹介・部活動連絡協議会は開催できなかった。</p> <p>2) 城北祭・球技大会など生徒が中心になって活動できた。</p> <p>3) 各委員会が活動計画を立て、活動できた。</p>		

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標 (全校レベル)	評価指標と活動計画 評価指標	評価 評価指標の達成度 総合評価・所見			学校関係者の意見
環境問題の理解と身の回りの環境美化実践および防災意識の啓発	6 安全・環境防災の推進 1) 校内環境を整え、公共心や豊かな情操を育成する。 2) 環境にやさしい学校を目指し、エネルギーの利用や物品の使用を効果的にする。 3) 災害発生時に適切な対応ができる防災体制作りを努める。	[環境防災課]  1) 2) ゴみの分別・資源保護・清掃活動等の取り組みについて肯定回答78%以上(R1 75.7%)を目指す。  3) 年間に防災避難訓練を2回、机下避難訓練を1回実施する。防災クラブの活動を進める。	[環境防災課]  1) 2) 教職員、環境委員、生徒会を中心に校内美化や環境資源の保護に取り組めた。  2) 学校内外の清掃活動・ゴミの分別・資源保護に積極的に取り組めた。(肯定回答79.2%)  3) 防災避難訓練を6月と9月に実施した。その他、6月、11月に南海トラフ地震対応訓練(机下避難訓練)を実施した。校内の掲示板や各教室に構内避難経路を掲示し、災害時の避難経路の周知を図った。	[環境防災課] (評価A) ・学校の環境美化や資源保護等の取り組みについて、生徒は協力的に取り組んだ。生徒会役員と環境委員が特に積極的に取り組み、節電・節水、ゴミの分別やペットボトルキャップの回収、文化祭・体育祭でのゴミ箱の設置や管理等を協力的にやり遂げて校内環境が整った。  ・消防庁、気象庁、徳島県などが企画した危機管理訓練に参加した。定期的な訓練により基本事項の確認ができ、また火災を想定した避難訓練を実施することで、緊急事態に応じた避難経路の確認もできた。	なし	[環境防災課] 環境防災委員によるクラス及び全校集会での直接的な呼びかけを徹底し、生徒が協力的、主体的に行動できる力を身につけさせたい。  啓発事項 環境委員 ①校内及び周辺の美化 ②新学校版環境ISOに関する活動の推進 防災委員 ①自然災害への対応 特別警報・風雪災害など ②東南海地震への対応 初期避難、防災避難訓練
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況			
	[環境防災課]  1) 環境委員を中心にさまざまな活動を通して環境問題についての意識啓発をする。  2) 生徒会と環境委員を中心として啓発を推進する。  3) 防災委員会の活動を通して、知識や実践力を身につける。	[環境防災課]  1) 保護者・生徒・職員組織で年1回除草清掃作業を行う。  2) ゴミ分別や節電、節水、紙のリサイクル活動を推進する。  3) 防災研修会への参加や防災に関する学校行事を行う。防災クラブ活動を進め、防災掲示板等による啓発も進める。	[環境防災課]  1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、除草清掃作業は中止となったが、毎朝校門前を有志の生徒が清掃作業を行った。  2) 教職員、環境委員、生徒会を中心に校内美化や環境資源の保護に取り組めた。新学校版環境ISOに掲げるゴミ分別や節電、節水、紙のリサイクル活動ではよりよい効果が出せた。  3) 防災委員会を中心に災害避難訓練を実施した。文化祭では、防災に関するポスター展示をし、防災意識の啓発に努めた。今年度は1・2年生の4名が防災士の資格を取得した。			

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見		
運営組織の活性化と教職員研修の充実	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	なし	
	7 学校の運営体制の充実 ・教職員一人ひとりが学校経営の当事者意識を持ち、課題解決のために組織的に取り組む。 ・研修体制の充実を図り、コンプライアンスの推進と、リスクマネジメントの意識を培う。	<p>[情報教育課] 1)情報セキュリティおよびICT活用の研修を、月1回以上行う。</p> <p>[コンプライアンス委員会] 1)職員会議や職員朝会などの機会をとらえて全教職員に対し年間15回以上の啓発・研修を行う。 2)予想される様々なリスクに対する危機管理体制(報告・連絡・相談)を確立し、周知徹底を図る。 3)外部講師による教職員研修を年1回以上実施し、働き方改革を推進する。</p> <p>[保健厚生課] 1)教職員対象の救急救命講習を年1回実施する。 2)教職員対象の健康相談会を年1回実施する。</p> <p>[特別支援教育課] 1)特別支援教育研修を年1回実施する。 2)学校生活において心配な生徒について校内での共通理解を図る。</p>	<p>[情報教育課] 1)Joruri掲示板などを通じて多くの情報提供を行ったが、教員全体での研修は実施できなかった。</p> <p>[コンプライアンス委員会] 1)職員会議・職員朝会などで年間22回の研修を実施し、啓発を行った。12月に教職員研修会を実施した。 2)4月に危機管理体制を整備し周知を図った。12月にはハラスメント相談の対応手順について確認をした。 3)外部講師による研修会を直前に中止したが、校内研修を充実させる努力をした。</p> <p>[保健厚生課] 1)教職員対象の救急救命講習を健康教育教材の動画による個別研修で実施した。 2)教職員対象の健康相談会を年1回実施した。</p> <p>[特別支援教育課] 1)新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修は中止となったが、学校教育相談の現状を把握し、次回の研修の課題として確認した。 2)教科担任会、特別支援教育委員会などを開催し、共通理解を図り、その後の指導に生かした。</p>	<p>[情報教育課] (評価B) 3密を防ぐために全体での研修はできなかったが、必要な事柄を教員間で個別に教えあう環境ができた。</p> <p>[コンプライアンス委員会] (評価A) 外部講師による研修は中止したが、他は計画通り実施できた。</p> <p>[保健厚生課] (評価B) 3密を防ぐため、救急救命講習を全体でできなかったが、教員全体での情報の共有はできた。</p>		<p>[情報教育課] 全体研修が行いにくい中、eラーニングなどを用いて個人のレベルアップを図り、教えあえるような職場を目指す。</p> <p>[コンプライアンス委員会] 次年度も、風通しの良い職場環境を維持・構築しながら、教職員の細心の保持及び服務規律の確保についてより一層の徹底を図る。本年度中止した外部講師による教職員研修を次年度は実施する。</p> <p>[保健厚生課] 全体研修の実施が難しい中、方法を考えて教職員の救急救命講習や健康相談会を充実させる。</p> <p>[特別支援教育課] 支援を必要としている生徒に対し継続してスクールカウンセラーを活用しながら支援する。また、共通理解を図るために臨床心理士とのコンサルテーションを実施し、生徒個々に応じた丁寧な支援を行う。</p>
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況			
	情報教育課 1)教員のセキュリティ意識とICT活用意欲の高揚を図る	<p>[情報教育課] 1)毎月1回程度、Joruri掲示板などを用いて注意喚起および情報提供を行う。</p>	<p>[情報教育課] 1)1月上旬までに23回の情報提供ができた。</p>	<p>[特別支援教育課] (評価B) 3密を防ぐために研修会は実施できなかったが、コンサルテーションにおいて臨床心理士と共通理解を深め、生徒を支援することができた。</p>		
	コンプライアンス委員会 1)職員研修の充実・徹底 2)危機管理体制の確立と周知 3)風通しの良い職場環境づくりと教職員間の円滑なコミュニケーションの促進	<p>[コンプライアンス委員会] 1)年間2回以上の推進期間及び随時適切な機会を設けて、バランスのとれた研修や啓発を行う。 2)危機管理に関する具体的な事例に基づく研修を実施する。 3)在校等時間を縮減し、ワークライフバランスの推進とメンタルヘルスの保持増進を図る。</p>	<p>[コンプライアンス委員会] 1)夏と冬にコンプライアンス推進週間を設定し、11月には「交通ルール遵守徹底研修」も追加して「eラーニング」等の研修を通して啓発を行った。 2)適時適切に事例を示して自己点検を促した。特にハラスメント防止については教職員研修を実施し、確認すべき事案を把握し、コンプライアンス意識の醸成を図った。 3)長期休業中等に定時退校や年休取得の呼びかけを行い、ワークライフバランスの推進に努めた。</p>			
	保健厚生課 1)教職員対象の救急救命講習の充実 2)教職員対象の健康相談会の実施	<p>[保健厚生課] 1)教職員対象の救急救命講習会を1学期に実施する。 2)教職員対象の健康相談会を2学期に実施する。</p>	<p>[保健厚生課] 1)教職員対象の救急救命講習を健康教育教材の動画による個別研修で1学期に実施した。 2)教職員対象の健康相談会を2学期に実施した。</p>			
	特別支援教育課 1)特別支援を必要とする生徒や学校生活が困難な生徒へのケアを図る。	<p>[特別支援教育課] 1)職員対象の特別支援教育について理解を深める研修会を実施する。 2)特別支援の対象となる生徒について校内で共通理解を図るためケース会議を開催する。 3)必要のある生徒には、スクールカウンセリングの制度を積極的に活用し、支援していく。</p>	<p>[特別支援教育課] 1)新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修は中止となった。 2)共通理解を図るため適宜ケース会議を開催し、支援のあり方を話し合った。 3)スクールカウンセリングを希望する生徒が有効に活用し、コンサルテーションにおいて支援の方法を話し合った。</p>			



自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見		
学校外との交流・連携やHPによる広報活動のさらなる活性化とボランティア活動を支援する校内組織づくりの推進	(全校レベル)	評価指標	評価指標の達成度	総合評価・所見	<p>[学校評価委員会] 昨年に引き続き回収率が増加した。質問内容の削除・変更し、回答しやすい形にしたことやHR担任の呼びかけにより増加したと思われる。次年度もわかりやすい説明を心がけていきたい。</p> <p>[情報教育課] 様々な情報を学校ホームページを中心にまなびポケットを活用するなど、各教員がより積極的に発信できる環境づくりを推進する。</p> <p>[国際交流課] 今後も県内における国際交流の研修会などの案内に努め、交流活動に積極的に参加する生徒の数を増やしていきたい。また、ドイツとの姉妹校交流をさらに充実させる。</p> <p>[特別活動課] 各種ボランティア活動の生徒への周知を積極的に行い、多くの生徒が参加できるよう働きかける。</p> <p>[総務課] 今後も新型コロナウイルス感染症による影響が長引くことが予想されるので、PTA活動の行事の内容や実施方法について新たな方法を保護者と共に模索し、検討する。</p>	
	8 開かれた学校づくりの推進・学校評価を充実させ、保護者や地域から信頼される開かれた学校を目指す。	<p>[学校評価委員会] 1)保護者学校評価アンケートの回収率80%以上をめざす。(R2 76.8%)</p> <p>[情報教育課] 1)ホームページを年250回程度更新する。 2)まなびポケットを年50回程度活用する。</p> <p>[国際交流課] 1)県内における国際交流の活動を周知し、積極的な参加を呼びかける。 2)本校ALT(外国語指導助手)との交流を通して、県内におけるスピーチコンテストへの積極的な参加を呼びかける。</p> <p>[特別活動課] ボランティア活動の積極的な参加を呼びかける。</p> <p>[総務課] 1)各種PTA活動を活性化させ、PTA総会参加者を前年度より10%増加させる。 2)業務を円滑に遂行する。</p>	<p>[学校評価委員会] 1)保護者アンケートの回収率は82.9%で、昨年度より約6%増加し、目標を達成することができた。</p> <p>[情報教育課] 1)1月上旬までに210回更新できた。 2)1月上旬までに4041回のタイムラインが使用され、現在も利用され続けている。教科指導以外に生徒指導等にも使われている。</p> <p>[国際交流課] 1)各課、各教科等とも円滑な連携と協力体制を整えたものの、感染症拡大防止のため多くの活動が中止となった。しかしながら、県内における国際交流の活動に参加することができた。 2)本校ALT指導のもと、2名の生徒が県内のスピーチコンテストに参加した。</p> <p>[特別活動課] 新型コロナウイルス感染症拡大防止により例年行われている活動がほとんどなくなり参加機会が少なくなったが、開催されたものに関しては参加の呼びかけができた。</p> <p>[総務課] 1)新型コロナウイルス感染症拡大防止により各種PTA活動は中止となり、PTA総会については書面総会という形で実施した。 2)実施できた行事については円滑に業務を遂行した。</p>	<p>[学校評価委員会] (評価A) アンケートの回収率は上昇し、目標値を達成することができた。</p> <p>[情報教育課] (評価A) まなびポケットを教科指導および生活指導等にも活用できた。若手・中堅教員を中心に多くの用途を開拓した。</p> <p>[国際交流課] (評価B) 感染症拡大防止のため、活動の場は減ったものの、県内で行われた国際交流や活動の場に参加する生徒がいた。</p> <p>[特別活動課] (評価B) 目標を達成できた。</p> <p>[総務課] (評価B) PTA活動(はずすべての校外活動が中止になるなど大幅に減少したが、実施できた行事や会議については人数を制限したり、実施方法を工夫して安全にできた。</p>		<p>・コロナウイルス感染症拡大防止の措置として臨時休業となったが、ホームページの情報発信が少なく、特に新入生の保護者は不安が多かった。再び臨時休業となる可能性もあるためアプリを活用して情報発信してはどうか。学校・保護者・子どもがつながる方法を考えてほしい。</p>
	(下位組織レベル)	活動計画	活動計画の実施状況			
	[学校評価委員会] 1)学校評価を充実させ、次年度の更なる改善に役立てる。	[学校評価委員会] 1)職員・生徒・保護者アンケート及び学校関係者評価委員会を実施する。	[学校評価委員会] 1)教職員・生徒・保護者アンケートを11月に実施した。学校関係者評価委員会は3月に予定している。			
	[情報教育課] ホームページおよびクラウドサービスを用いた情報発信を充実させる。	[情報教育課] 1)ホームページの更新について、分掌や部活動顧問を支援し迅速な情報発信を促す。 2)まなびポケットの有効な使い方をJoruni掲示板などを用いてすべての教員に周知する。	[情報教育課] 1)体育部・文化部ともに対外的な試合・行事が少なかったため、情報発信数はやや減少した。 2)ICTを積極的に使用する雰囲気ができ、お互いに教えあうことができた。			
	[国際交流課] 1)国際理解教育の推進 2)徳島県内におけるスピーチコンテストへの参加の促進	[国際交流課] 1)全校生徒に県内の国際交流のイベントや行事を紹介し、積極的に参加するよう呼びかける。 2)県内におけるスピーチコンテストについて、全校生徒、教職員に周知し、積極的な参加を呼びかける。	[国際交流課] 1)四国大学わくわくイングリッシュセミナーに1年生5名、2年生3名、3年生4名の計12名が参加した。 2)県内におけるスピーチコンテストについて、全校生徒、教職員に周知し、今年度は徳島県高等学校英語弁論大会に2年生2名が参加した。			
	[特別活動課] ボランティア活動の活性化	[特別活動課] ボランティア活動の周知。	[特別活動課] 参加可能な活動に関しては周知できた。			
	[総務課] 1)PTA活動の円滑な運営と充実 2)学校行事・式典時における外部との連絡調整	[総務課] 1)PTA活動における各種連絡調整や研修などの企画提案を行う。 2)城北祭や卒業式での渉外業務を行う。	[総務課] 1)4月に理事会、5月に総会を書面で、7月に臨時役員会、12月に3学年部会を開催した。 2)城北祭でのPTA行事は今年度は中止した。卒業式に關しても校外の方々への案内は自粛した。			